

## その人、困っているかもしれません。－「ヘルプマーク」の普及－

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見からはわからなくても、配慮や手助けを必要としている方が身につけるマークです。

そうした方々の存在を知っていただき、お互いに助け合いながら、誰もが安心して生活していけるよう、「ヘルプマーク」の普及に取り組んでいます。



- 電車・バスの中で、席をお譲りください。

外見では健康に見えても、疲れやすく立ち続けることが困難な方や、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。

- 駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。

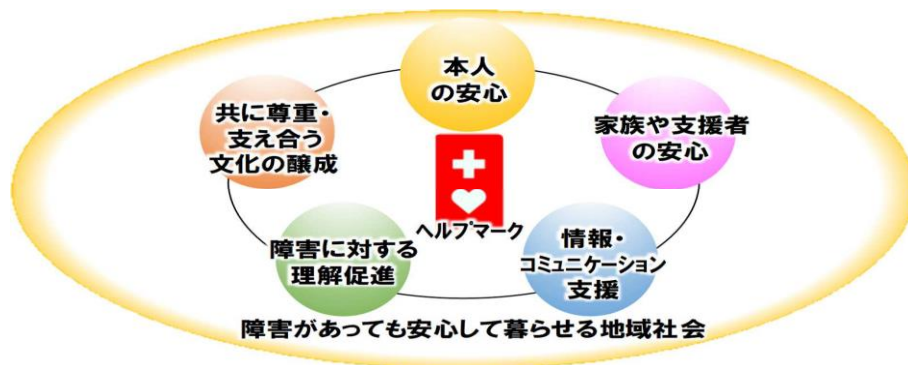
お一人での外出時における突発的な出来事に対して、臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

- 災害時には、安全に避難するための支援をお願いします。

視覚障害や聴覚障害等により周囲の状況把握が難しい方、肢体不自由等により自力での迅速な避難が困難な方がいます。

- 緊急時には、シールの記載内容をご確認ください。

ヘルプマークの片面に、緊急連絡先や障害の内容など、必要な情報を記載したシールを貼っている方がいます。どのような手助けが必要かわからない場合や緊急を要する場合は、シールの有無とその内容をご確認ください。



## 出前講座やダム見学をご活用ください！

栗原地方ダム総合事務所では、防災意識の醸成および地域と連携した防災・減災への取り組みとして「出前講座」や「ダム見学」を随時開催しております。

今年度は昨年7月の豪雨災害により、県民の防災に対する関心が非常に高まったこともあり、地区の行政区長会や自主防災会等から「出前講座」へのお申し込みが多数あり、約300名の方々にダムの役割や洪水調節等について説明を行いました。

また、市内の小・中学校をはじめ各種団体から「ダム見学」のお申し込みがあり、約260名の方々に花山ダム等にお越しいただきました。見学記念としてダムカードの配布も行い、参加者から大変好評を得ております。

今後も活動を継続して参りますので、自主防災会等の勉強会や小・中学校の社会科学習等に是非ご活用ください。

※申込用紙は下記URLからダウンロードできます。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kh-dam/index.html>



自主防災会の研修会



中学校の花山ダム見学

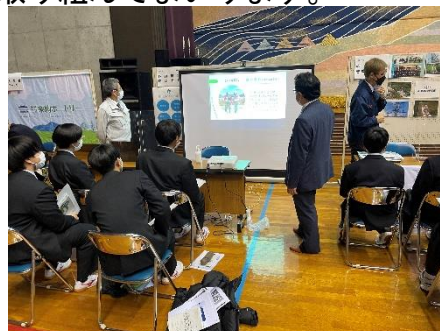
お問い合わせ：栗原地方ダム総合事務所 管理第一班・管理第二班 ☎0228-56-2233 Fax0228-56-2201

## くりはらジョブ・フェア2023冬が開催されました

令和5年1月27日（金）に、みちのく伝創館（栗原市栗駒岩ヶ崎松木田79）で「くりはらジョブ・フェア2023冬」が開催されました。「くりはらジョブ・フェア」は、来年度に就職活動を迎える高校2年生等を対象として、市内企業との情報交換、意見交換の場を提供することにより、就職への考えを深め、地元への定住・定着を促進するとともに、企業の就職支援の充実に資することを目的として開催されています。

当日は、市内企業36社、高校生169名に参加して頂きました。各企業の担当者の方の、企業の特徴や求める人物像、具体的な仕事内容といった説明を、高校生の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

今後も、高校生の就職支援に取り組んでまいります。



お問い合わせ：北部地方振興事務所栗原事務所 地方振興部 商工・振興班 ☎0228-22-2195

## 令和4年度畜産講演会が開催されました

令和5年1月24日（火）「この花さくや姫プラザ」にて栗原市畜産講演会が開催されました。この講演会は、肉用牛の飼養管理技術や畜産情報等の研修により栗原管内の生産性の向上と畜産経営の改善に寄与することを目的としており、近年は新型コロナウイルスの流行による中止が続いていたため、3年ぶりの開催となりました。

宮城県農業共済組合家畜診療研修所 所長 松田敬一氏「子牛疾病予防対策～妊娠末期から出産後の飼養管理について～」では、子牛の病気を予防するには妊娠中の母牛の管理が重要であること、分娩介助の注意点や子牛の管理について、すぐにでも農場に取り入れられる情報を織り交ぜ、わかりやすくお話ししていただきました。次に、全農ミートフーズ株式会社東日本営業本部牛肉営業部 課長 河野隆太氏「牛肉の販売・流通情勢について」では、コロナ禍での牛肉消費・需要の変化、銘柄牛による差別化について講演がありました。さらに新みやぎ農業協同組合北部畜産センター 佐々木亮平氏から「第12回全国和牛能力共進会（鹿児島大会）結果報告」がありました。栗原管内からは第6区（総合評価群）の種牛群4頭と肉牛群に1頭が出場し、過去の宮城県出品で最高位となる『優等賞第6席』を獲得できました。次回2027年北海道大会に向けて特色ある種雄牛や繁殖雌牛づくり、関係者の技術力向上を継続して取り組んでいくとのことでした。

お問い合わせ：栗原地域事務所 畜産振興部 ☎0228-22-2487

---

## 栗原市産「野生たらのめ」の出荷制限一部解除について

栗原市の「野生たらのめ」は、食品の基準値（100Bq/kg）を超える放射性セシウムが検出され、平成26年4月25日に出荷制限が指示されました。

平成26年5月から令和4年4月までモニタリング検査を実施したところ、野生たらのめに含まれる放射性セシウムは安定して基準値を下回ることが確認されたため、出荷解除制限の申請を行い、安全性を確認したことから、令和5年2月17日、原子力災害対策本部長（内閣総理大臣）から、出荷制限の解除について指示がありました。

今回、出荷制限解除となる地域は、栗原市内の旧築館町、旧栗駒町、旧高清水町、旧一迫町、旧瀬峰町、旧金成町及び旧志波姫町の地域です。

解除の対象となる出荷者は、県の認証登録を受け出荷する必要があります。認証登録された販売施設（近隣の直売所、道の駅等）に限定して販売することとなりますが、出荷前に栗原市内の発生状況を確認し、3検体以上の検査を実施するとともに、出荷期間中に毎週1検体以上の定期検査を実施することとなります。

なお、出荷制限指示が継続されている旧若柳町、旧鶯沢町、旧花山村については、栗原市と連携し継続してモニタリング検査を実施することとしています。

お問い合わせ：北部地方振興事務所栗原地域事務所 林業振興部 林業振興班 ☎0228-22-2381



## 自動車の名義変更はお済みですか？

自動車税（種別割）は、毎年4月1日現在の所有者に課税されます。このため、年度途中で名義変更した場合でも、4月1日現在の所有者の方に、1年分の税金を納めていただくこととなります。

自動車の登録（車検証の記載事項）は、住民票のようなものです。自動車を譲ったとき、廃車にしたとき、転居したときなどは、それぞれ名義変更や抹消、住所変更などの登録手続きを速やかに行ってください。また、自動車販売店などに手続きを依頼した場合は、ご自身できちんと確認をお願いします。

こうした手続きを3月末までに行わないと、新年度の税金が発生したり、納税通知書が届かないというトラブルに繋がりますので、くれぐれもご注意ください。

なお、自動車の登録手続きについては、『東北運輸局宮城運輸支局（電話 050-5540-2011）』まで、お問い合わせください。

自動車税は、大切な県の収入です。5月末までの納期内納付にご協力ください。



お問い合わせ：北部県税事務所栗原地域事務所 税務班 ☎0228-22-2123

©宮城県・旭プロダクション

---

## SNS「ございんくりはら」で栗原の魅力を発信中です！

栗原地域事務所では、「ございんくりはら」という名前で、ブログ・twitter・Instagram・YouTubeそれぞれで、栗原の情報を発信しています。ブログ・twitter・Instagramでは、職員が、日ごろの業務やプライベートで見つけた栗原の魅力を“ゆるーく”語っています。YouTubeでは、栗原地域の観光や地域の話題などの動画をアップしています。

イベント情報等のお知らせも随時発信していますので、下記QRコードから是非フォロー、チャンネル登録をよろしくをお願いします！



[ブログ](#)



[Instagram](#)



[twitter](#)



[YouTube](#)



お問い合わせ：北部地方振興事務所栗原事務所 地方振興部 商工・振興班 ☎0228-22-2195